

議会報告会報告書

平成25年8月16日

山陽小野田市議会

議長 尾山信義 様

A班

代表 伊藤 實

平成25年6月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成25年7月29日（月） 19:00～

2 開催場所

文化会館

3 参加人数（市民）

15 人

4 担当班議員名

（ 伊藤 實 ）（ 下瀬俊夫 ）（ 硯谷篤史 ）（ 平原廉清 ）
（ 松尾数則 ）（ 吉永美子 ）

5 報告会次第

- （1） 市議会議長挨拶
- （2） 6月議会の報告
 - ① 総務文教常任委員会
 - ② 民生福祉常任委員会
 - ③ 産業建設常任委員会
- （3） 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

- ① 図書館友の会とは、どんな団体か。(設立時期、会員数、規約の有無等)

[回答]

内容まではわからないが、図書館利用者の団体と聞いている。複合施設の図書館について請願が出され、総務文教委員会の担当となったので、代表者を招き請願の趣旨を聞き、審査をした。どんな団体かは承知していない。

- ② 今回の事業で急ぎよ出来た団体か。

[回答]

団体がどうこう言うよりは、請願を出すのは市民の権利であるから、私たちは色々な方からいろんな請願や要望が出されると思っている。こんな団体からはダメということはない。

- ③ 27日の委員長報告について。委員会で最初は7-0で修正(執行部にとっては否決)された。途中で再審査の意見がでたが、3-3で、委員長決裁で否決された。その経過が委員長報告で欠落していたのはなぜか。この施設は市民も希望しているので、解体費として計上して、事業は継続するが市民合意ができるまで待とうよという形にすれば、市民にも補助金を出す県にも分かりやすかったのではないか。その2点について。

[回答]

修正は予算をはじめはゼロにした。それは友の会をはじめ要望が上がっていて、合意形成が行われていない。補助金等の資金は、今回間に合わなくても来年度でも申請可能かと執行部へ聞くと、出来るとの確認があった。

13億円を投入する事業であり、多くの利用者の市民の合意がある程度得られれば良いが、行政主導で進められることに懸念を感じた。

ここで1~2カ月、あるいは6カ月おくれたとしても本当に良いものを作るべきだということで、最初は予算をゼロにした。執行部も利用者をはじめ多くの市民の意見を聞きながら20~30年使用するこの施設を良いものにしたいという思いであった。

しかし来年度以降1億円以上のものについては中山間地の補助金は使えないという改正が行われることが分かったので、当市の財政は苦しいので使えるようにしようということで、予備費に振り替えた。

- ④ 中山間地域づくりの補助金の性格はなにか。ふつうこのような複合施設事業に使えるとは思わない。この資金の性格が分かっておれば、スピード感が出るのではないか。

[回 答]

スピード感の前に、まずお金がありきではない。まずは利用者が納得しない施設を作るべきでないと言うのが第1。その後に有効な財源を使う。という判断。優先順位はまず利用者。いいものを作ってもらったというものを作るのが第1。その後に財源問題。

⑤ 中山間地域づくりの補助金の使途は何か。

[回 答]

地域の人が集うようなことに使うのが本来の目的である。

⑥ ワークショップで市民合意が得られていないということを、どのような調査をして結論に至ったのか。今後の計画、次行程の展望を示せ。

[回 答]

公民館から要望書が市長へ出されていることは承知している。空調の設置、防音室の設置、早期着工等が要望されている。このことは総務文教委員会でも承知している。なおかつその他の請願が出されている。これらは7月の説明会では合意がなされているとは思っていない。当初予定通り27年3月には完成すると考えている。

⑦ 複合施設の災害対策について。地盤の嵩上げの必要は。

[回 答]

基礎部分から嵩上げしようということになっている。避難所の機能について実施設計に向けて総務文教委員会で機能が発揮できる施設を求めていこうと考えている。

⑧ まち歩きガイドブックの件。市には「ふるさと塾」があるが市民へのPRが足りないのでは。

[回 答]

ガイドブックとふるさと塾の関わりはよくわからないが、これまでふるさと協議会で「観光マップ」を各校区で作っていた。これらを活用しながら、手で持って歩いて歴史とか自然を散策できるようなガイドブックを作っていこうとするもの。

⑨ デマンド交通について。200万円かけてどんな調査をするのか。

[回 答]

運行エリア、どんな車を使うか、どのような業者へ委託するかなどの調査と詳しい制度設計をする。

⑩ その調査のときに市民の声はどの程度取り上げてもらえるのか。

[回 答]

これはまちづくり市民会議でどうするかを検討している。市民会議は市長の諮問機関。ここで市民の意見を吸い上げることになっている。市民会議で「推進せよ」の答申があって予算がついた。

⑪ 新橋の状況は。防災工事の進捗状況は。

[回 答]

厚狭川の工事は県の事業だから詳しくは今報告できない。

新橋は市の事業だから、9月に供用開始される予定。マルキの交差点南にJRがあって桜川があるが、その川の断面が不足しているので、寝太郎3区が水害に遭う。

県は今のガードの東側に地中にバイパスを作り2本にする。それから上、南山川の入口の川巾を倍(8m)にする。今秋からその付近の橋を落とす。最終的には大正川の排水機場から39トン/秒で排水されるので、フル稼働すれば、寝太郎3区が真っ先につかることはなくなろう。